

令和8年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

(2学年)

1 単位時間の時間 (50) 分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4	・「人間と社会」の意義と学習活動の説明 *12「支え合う社会」(2時間)	・課題解決のプロセスを確認する。 ・素朴な疑問から興味・関心を深め、自らの「問い」として設定することを学ぶ。	・自ら考察や企画したことについて、着実に実現する。 【興味・関心】 ・様々な調べ方、まとめ方を工夫し、課題に応じたものを見つけようとする。	2 (事前活動)
	5	*13「地域社会を築く」(13時間)	・今までの総合的な探究の時間での活動や興味・関心に基づいて設定した総合的な課題について調査する。 ・探究課題について、本やWebで現状や原因などを調べる。	【知識・態度】 ・自分なりの調べ方やまとめ方で工夫のある表現をしようとする。	3
	6	個人で設定した課題に対する探究活動を行う。(体験活動を主とした、ゼミ活動。)	・ゼミ担当の教員と個別の探究課題について共有し、今後の調査の方針について相談する。	【知識・技能】 ・興味・関心を広げ、自分の課題を集中して調べる。	4
	7			【興味・関心】・【知識・理解】 ・探究課題を自分の在り方、生き方、進路などと関連付けて考える。	3 (体験活動)
2	9	夏季休業中の課題(フィールドワークや実験)に向けて ・調査内容、方法の検討 ・調査時期、調査場所の検討	・八王子市役所と連携して、テーマ分野ごとの講演会やワークショップ等を実施する。	・探究課題を自分の在り方、生き方、進路などと関連付けて考える。	3 (体験活動)
	10	・調査計画の作成	・探究課題を解決するため、また本やWebでは調査しきれない情報を得るためにアンケートやインタビュー、実験を含めた実地調査を計画・実行する。	【思考・判断】 ・学習成果をまとめ、学習したことの意義や価値について自分の言葉でまとめる。	4 (体験活動)
	11	「夏季休業中課題」発表・共有	・ゼミ内での中間発表等を実施し、ゼミ生同士が互いに批評し合うことで、探究の精度を高める。	【知識・理解】 ・スライド資料、レポートなどの作成、発表の内容	3 (体験活動)
	12				3 (事後活動)
3	1				3
	2				4
	3	・発表準備 ・ゼミ内発表 ・探究成果発表会 ・2年間の振り返り	・探究成果発表会にむけた準備、および当日の発表。		3
配当時間数の合計				35	